

# PTAあきた



秋田県PTA連合会



(内川小学校 閉校式より)



(釜ヶ台小・中学校 開校式より)

## 煩わしさの中にある価値

秋田県PTA連合会

会長 渡辺 正宏



現在、私たちの周りにはあらゆる便利さで満たされております。わざわざ出かけることなくネットでも欲しい物が注文でき、真夜中であろうとコンビニで買物ができる。子どもたちは、友達との会話をメールで済ませる。

私たちは便利になった世の中で、その便利さと引き換えに大切なものを失いつつあるような気がします。親は子どもと遊んだり、受け答えをすることが煩わしいから、子どもにTVやゲームを預けておく、すると子どもはおとなしくなる。そこでうちの子は「いい子」だと勝手に思い込んでしまおう。これが現代の子育てだとしたら、親と子の絆は希薄なものにしかありません。

最近、人付き合いが苦手な子どもが多くなったと聞きます。もともと、人間関係は煩わしいものだと思いますが、それでもその中からコミュニケーション能力が鍛えられ、それが社会で「生きる力」につながっていくのではないのでしょうか。かつて、子どもたちが友達の家へ電話をする時、それが煩わしいことでも基本的な挨拶や言葉遣いを身につけていたでしょうし、親は子どもの交友関係を把握できたはずで。

我々保護者は今一度、子どもと一緒に煩わしさの中にある価値を考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

最後になりますが、今年度も会員の皆様から本連合会の活動に対し、ご理解、ご協力いただきましたことに厚く感謝申し上げます。

# 教育懇談会

より良い教育環境づくりを目指して、本年度も県教育委員会との「教育懇談会」を平成22年1月20日(水)に開催しました。

県教委からは根岸教育長、須藤参事、佐々木参事、義務教育課、高校教育課、保健体育課、生涯学習課の担当職員、本連合会からは会長を始めとした役員の大勢が出席し、2時間近くにおよんで活発な意見交換が行われました。以下、その概要について報告します。

## 1 学力の継続について

○ 小・中学校での学力は全国学力テストの結果のとおりと思うが、高校での学力は伸びていない。何が原因なのか。

(県教委)  
高校での学力の判断は、センター試験の結果とか大学入試の結果からだと考えます。小・中の学力テストは全員受験で、センター試験は高校生・卒業生約1万人の35%です。比較はできません。

本県では理数に力を入れた事業を進めています。博士号取得教員から講演や実験等、理数に対するモチベーションを高めるような事業で少しずつ成果が現れています。昨年3月卒業生の秋田大学医学部合格者が過去最高の37名でした。工業高校からの国立公立大学進学が55名と多くなってきました。東北大学103名、東大、京大が13名とパワーアップ推進事業の成果が見えてきました。様々な角度から生徒を育てようとしていることを理解いただきたい。

○ 中高一貫教育の良さや課題について教えてください。

(県教委)  
本県には3校あります。一貫校の利点は高校入試が無いことから①ゆとりを持って6年間安定した環境で勉強



○ 6年間を学習・スポーツ・文化活動・社会活動等に計画的にできる。このことが魅力であり、地元でも人気があり多方面で認められつつある。子どもの将来を考えると選択肢の一つとしてほしい。

○ 学力向上で、家庭でできることがあれば教えていただきたい。

(県教委)  
小・中学校は先生の指導を素直に受けて頑張る児童生徒が多く、家庭学習の習慣が身につけており、心配は無いと思います。

○ 学力テストが抽出で実施されることになったが、県としての対応をお聞きたい。

(県教委)  
本県の抽出率は43%で、残り57%は各市町村教委とも希望利用方式で実施したいと考えています。県としてはこれまでと同様に分析をして授業や学習習慣等に反映させていきたい。

○ 学力テストの結果をこれまでどのように活用したのですか。

(県教委)  
各市町村で管内小・中学校の結果を分析をしています。県検証改善委員会ではデータを分析し、提言し、パンフレット、指導資料等インターネットで配信しています。今年度は、3年間非常によく結果を出した学校の、特色ある取り組みの事例を掲載するなどの準備をしています。

○ スポ少が学校から離れて保護者や民間の専門家が指導している場合、過熱の傾向がある。スポ少の過熱が燃え尽き症候群的に中学校、高校の部活動につながっていない。県ではどのような

に考えているのですか。

(県教委)  
問題がある場合にはまずスポーツ少年団事務局に連絡をいただきたい。県としては子どもに体力的な面だけでなく、心の面にも気を配り進捗しても部活動として継続できるように、様々な場面で話をしていきたい。小・中・高の系統性を考えながら活動ができるようにスポーツ少年団事務局と連携をとっていきます。

## 3 小・中学生のケイタイについて

○ ケイタイへの認識について、研修会等に参加しない保護者への啓発をどうするか、県からの支援をいただきたい。県のサイバーパトロールはありますか、PTAとしても協力したい。

就学前の子どもを持つ保護者へのこの啓発活動は、大きく浸透していくチャンスだと思います。ケイタイに限りずリテラシーの問題は早め早めの対応に感じたことはないので、県としては是非検討していただきたい。

(県教委)  
学校への持ち込みが原則できなくなつて所持率は減り、フェリタリングは6割程度です。ケイタイに対するルールづくりは保護者、地域住民、警察等の協力を得て、守らなければならぬ。研修会等に参加しない保護者には、小学校の卒業式、中学校の入学式を利用して説明するのが有効な手段と思う。メディアの力を借りるなどして、その実態を語らせ保護者の目を向けさせる方法もあるかと思えます。ケイタイによるいじめ等の問題は学校でもPTAでも取り上げ、

県全体の課題として解決にあたつていきます。家庭で少しでも子どもの変化を感じたら、学校へ連絡をいただき素早い対応をしたい。保護者と学校の連

携を回ることが大事です。ケイタイのフェリタリングの徹底を業者にお願いをしており、販売の際には十分な説明をしていただくようにもしています。

○ 市町村レベルで有害ネット情報を話せる人を増やす事業をお願いしたい。

(県教委)  
有害情報リporter養成講座を各都市PTA連合会ごとに開催させていた。反響が大きく先生たちの研修の要望も出された。

出前講座では各学校のPTAに訪問し、約2000人の参加を得ました。ケイタイの現状把握と学校裏サイト等に、保護者の方のネットワークを広げていただきたい。有害情報について語ってくださるPTAの方が増えてくれることを望んでいます。

(渡辺公長)  
有害情報については、社会的な運動が必要だと思います。そのためにはPTAが伝道師になりたい。

就学前児童の保護者をリードして、ケイタイの便利さと危険性について研修させることはより効果が大いと思うので是非検討願いたい。

○ 学校閉鎖等の児童・生徒への影響、高校入試への配慮等を伺いたい。

(県教委)  
学校・学校閉鎖については充分な校

業時間数を取っていますので、本県のどの学校も心配ありません。高校入試は、予備日を設けるなど不利にならないよう配慮しています。

(渡辺公長)  
今後の危機管理のためにも、マニエアルの作成をお願いします。

本県の学力テスト3年連続の好成績は、全国的に注目を集める結果となり、未来を担う子どもたちの優れた資質が照明され、県民にも明るい話題を提供できた。今こそ、人材育成を主眼においた施策を進めたい。

高い志を持ち、世界で通用する優れた能力を身につけることができるよう環境整備に努め、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を深め、オール秋田で育んでいきたい。提案のあった幼児期の児を持つ保護者へのケイタイ等の啓蒙活動は実行します。今後とも皆さんと知恵を出し合い教育立県秋田を築いていきたい。



○ 学校閉鎖等の児童・生徒への影響、高校入試への配慮等を伺いたい。

(県教委)  
学校・学校閉鎖については充分な校

平成22年度開催  
研究大会のお知らせ

第58回日本PTA全国研究大会  
ちば大会  
～房の国集い集れば実りあり～  
開催日 8月27日(金)～  
8月28日(土)  
会場 幕張メッセ他8会場

第42回東北PTA研究大会  
八戸大会  
海と大地のハーモニー  
～子どもとともにほぐくむ夢・  
コミュニティー～  
開催日 9月11日(土)～  
9月12日(日)  
会場 八戸市民館他5会場

第36回秋田県PTA研究大会  
かづの大会  
こころ豊にたくましく  
～朝日を力強く生き抜く子どもたち～  
開催日 10月23日(土)～  
10月24日(日)  
会場 湯瀬ホテル

大館北秋

大北PTAに元気のビタミン剤を！  
大館PTA連絡協議会「大館



「ネイガールの生みの親が語る！秋田への思い、秋田の子ども達への願い」これは、昨年度に続き大館市小中PTA協議会と共催で行った研修会の講演題です。ネイガールプロジェクト創設者である海老名保氏を招き、生死に関わる話がを含めた多くの挫折から立ち上がってきた体験談、たくましく生きていくコツ、そしてネイガール誕生秘話まで、熱く明るく語っていただきました。講演前には、ネイガールの弟分ジョンが登場し、怪人から秋田を守る一場面も、秋田での前向きな子育てのためのヒントがいっぱいの講演に、「子育ての元気をもらった」との感想が多数寄せられました。

かづの

鹿角の熱い一日

毎年11月、「鹿角のPTA活動を考える会」が開かれます。今年度は鹿角市教育委員会と県教育庁生涯学習課及び県PTA連合会の協力を得て、「メディアが子どもに与える影響」に関する講演とパネルディスカッションを行いました。



講師のジャーナリスト 有田芳夫氏からは、取材したオウム事件を例にして、テレビの功罪についてお話いただきました。また、パネルディスカッションでは、携帯や成人図書に潜む危険性について、パネリストとフロアで積極的な意見交換を行いました。枯れ葉舞う寒い中、ホットな時を過ごした午後でした。

能代山本

「心を育てる講演会」の開催

今年度、能代市山本郡PTA連合会では活動方針の第一に「おしめない情熱と愛情を注ぎ、子どもたちの夢や希望を失わせないこと」を掲げ、これを基本コンセプトに事業を行い、その一つとして「心を育てる講演会」を実施いたしました。講師には北海道赤平市で安くて安全性の高い小型ロケット「カムイ」の開発や製作に取り組む、また独自の教育理念に定評のある植松電機の専務植松努さんをお招きし、「思うは招く、夢があれば何でもできる」と題した講演では「夢を持つ大切さ、自分に自信を持つ大切さ」を熱く語っていただきました。自信の体験に基づく真実の言葉にはその一言一言に深みと重みがあり、圧倒的な存在感とその真摯な語り口調に魅了され、予定時間をオーバーする熱演も短く感じられる程内容の濃い講演でした。この植松さんから贈られたメッセージ、パワーを今後ぜひ生かしていきたいと思えます。最後になりましたが、講演会開催に協力していただいたPTA会員の皆さん、本当にありがとうございました。



熱戦！  
ソフトバレーボール大会



男鹿市PTA連合会では、市内PTA会員の親睦を深めるために、女子ソフトバレーボール大会を行っている。市内十三校の小・中学校のPTA会員が参加し、大会を開催している。年々学校規模が小さくなるなかで、メンバー集めに苦労しているが、この大会を目標として、早くから練習に取り組んでいるチームもある。試合当日は、親睦を深めることが主目的ではあるが、熱戦になることが多い。今年も熱戦が多数見られた。

男鹿市

湯上南秋

市・郡PTA連合会「研修会」より

十一月一日(日)湯上市天主教公民館を会場に平成二十一年度の会員研修会を実施した。新型インフルエンザが全国的に蔓延している時期ではあったが60名を超える参加者の協力を得て、予定通り開催することができた。講師は秋田大学教育文化学部 長澤光雄先生。長澤先生からは、望ましいスポーツ活動の在り方についてご話いただいた。今、子ども達はスポーツのように一つの競技を極める機会はあるが、興味があってもいろいろなスポーツにチャレンジする機会が少ないのではないかと。スポーツでは競技種目が多いし、勝ちに走りがちで練習が子どもの体力を超えてハードになりすぎることが心配だ。まだまだ成長過程にある子ども達の未来は計り知れない、その未来を広い子ども達の成長を見守っていく目を持つことも必要ではないか等のご提言があった。参加者からは、やや過熱気味なスポーツ活動・部活動の在り方を考え直す機会を与えてもらったと好評だった。



## 三〇年継続事業 「二円玉のハーモニー」

秋田市



毎年一回必ず行っている「二円玉協賛金運動」が、おかげさまで三〇回目を迎えることが出来ました。これは、秋田市小中学校の児童生徒が、義勇施設や様々な環境にある子どもたちと同じ時代を生きる仲間として、互いに助け合い、友情を深め、そして一円玉を大切する心を持つ人間に育つことを願って開催しているのです。この時期、お小遣いや買い物のおつりなどから一円玉を募金用によせている子どもたちもいると聞いております。

見直しする事が持て囃される現代社会ではあります、各ご家庭において、まず初めに教えるのは「継続の力」ですよね。

にかほ

## 活発な研修会

かほ市PTA連合会「研修事業部」勉強会



今年度、時代に即した題材で2回の公演会を開催致しました。一つは「家庭の食卓からの農と食の再生」。二つ目は「すばらしき少年達との出会い」と題して、少年院での活動等の事例から、子供達の心の動き、悩み、接し方を改めて、教えて頂きました。

どちらの研修会も、保護者の方だけでなく地域住民の皆様にも多く出席頂き、活発な意見交換が行われました。予定した時間を超過して真剣に取り組んでいる姿が今も思い出されます。これからより多くの方々に参加して頂いて、PTA活動の和が広がる様に各機関と協力して取組んでいきたいと思っております。

由利本荘

## 有意義な市PTA 連合会研究集会



今年度、隔年開催の由利本荘市PTA連合会研究集会が東由利地区PTA連絡協議会が中心となり「有隣館」にて開催された。講演会と分科会(テーマ別に三分科会)を行い、二百名を超える会員が参加した。講演会は、東洋大学陸上部競技コーチの佐藤尚氏をお招きし「走れる喜びを感動の輝に」という演題でお話をいただいた。第八五回箱根駅伝で総合優勝に輝いたときの秘話や指導者として「感謝の気持ちをもたせて走らせた」、「それぞれの選手個性を見極め、鍛えた」ことなどのお話、多くの参加者から数多くの感銘の声が寄せられた。

今年度は、隔年開催の由利本荘市PTA連合会研究集会が東由利地区PTA連絡協議会が中心となり「有隣館」にて開催された。講演会と分科会(テーマ別に三分科会)を行い、二百名を超える会員が参加した。講演会は、東洋大学陸上部競技コーチの佐藤尚氏をお招きし「走れる喜びを感動の輝に」という演題でお話をいただいた。第八五回箱根駅伝で総合優勝に輝いたときの秘話や指導者として「感謝の気持ちをもたせて走らせた」、「それぞれの選手個性を見極め、鍛えた」ことなどのお話、多くの参加者から数多くの感銘の声が寄せられた。

横手市

## 研修会で 親の役割を 再確認



今年度は、時代に即した題材で2回の公演会を開催致しました。一つは「家庭の食卓からの農と食の再生」。二つ目は「すばらしき少年達との出会い」と題して、少年院での活動等の事例から、子供達の心の動き、悩み、接し方を改めて、教えて頂きました。



## せんぼくPTA連合会 交流会



今年度は、時代に即した題材で2回の公演会を開催致しました。一つは「家庭の食卓からの農と食の再生」。二つ目は「すばらしき少年達との出会い」と題して、少年院での活動等の事例から、子供達の心の動き、悩み、接し方を改めて、教えて頂きました。

## せんぼく 交流会開催

平成21年12月6日(日)に52名の参加者を得て、交流会が開かれた。毎年行っている交流会であるが、今回は二部構成の内容とした。

一部は、元法務省人権擁護委員の山崎澄子氏をお招きして「こどものしつけは親がする」親の顔は誰がする」の演題で講演をいただいた。

今年度は、時代に即した題材で2回の公演会を開催致しました。一つは「家庭の食卓からの農と食の再生」。二つ目は「すばらしき少年達との出会い」と題して、少年院での活動等の事例から、子供達の心の動き、悩み、接し方を改めて、教えて頂きました。

## 湯沢雄勝 郡・町P合同 研究集会開催

秋田市立赤平小学校



①明治8年6月17日  
②21名

一三四年の歴史に幕を閉じ、来春からは河辺小と統合。今年度は学校に泊まつたり、千本のひまわりを植えたりと親子一緒に思い出作りをたくさんしました。閉校になってもあったか赤平の思いは続きます。

秋田市立金足東小学校



①明治8年3月23日  
②12名

地域に最も愛されたこの学校の歴史に、幕を下ろすことになりました。学校という名は無くなりませんが、私たちの心の中には永久に残ります。そして子供達がより良い環境で学ぶことを心より願います。

①創立年月日  
②児童・生徒数



メモリアルページ



今年度をもってPTA活動の区切り(閉校)となる学校があります。PTA会長のコメントとともに校舎・校章を記録として残したいと思います。

五城目町立内川小学校



3,000名もの「内川っ子」を育て上げた内川小学校が、135年の歴史に幕を下ろすことになりました。先生、保護者の方々、そして地域の皆様の心温まるご支援に深く感謝申し上げます。



①明治8年4月18日  
②27名

にかほ市立釜ヶ台小中学校



①小学校：明治15年4月28日 中学校：昭和28年4月1日  
②小学校：12名 中学校：6名

親から子へと受け継がれてきた釜ヶ台小中学校の伝統を守り、それに関わってこられた全ての教職員の皆様に感謝の気持ちと子どもたちの新しい出発にエールを送ります。

美郷町立六郷東根小学校



①明治12年4月24日  
②47名

「小さくともキラリ」を合い言葉に大自然の中で学習、スボ少活動に頑張ってきました。百三十年の歴史に幕を下ろすことになりましたが、いつまでも「キラリ」と輝き続けてほしいと思います。

横手市立十文字中学校



①昭和26年4月1日  
②255名

閉校により、慣れ親しんだ校歌、校章、「春風秋霜」の校訓ともお別れすることになりました。寂しさもありますが、四月に誕生する新たな十文字中学校を、これまで以上に応援していきたいと思えます。

横手市立十文字西中学校



①昭和39年4月1日  
②97名

校訓「思案生知」のもとに生徒、先生、保護者、地域の方々が丸となって築いた四十八年間の伝統と歴史、子供達と共に私達にとっても「心」を育む「学び舎」であり地域にとって大切な拠点でした。

# 秋田県PTA安全互助会から

平成21年4月から平成22年1月までの児童・生徒とPTA会員の事故の実態をまとめたものです。お互い、十分に気をつけたいものです。参考にしてください。

◆ 事故件数 (件)

傷害	児童・生徒	1,287
	PTA会員	34
賠償	児童・生徒	81
	PTA	1
総計		1,403

1 児童・生徒の傷害事故

事故実態 1,287件 (件)

遊戯中	461
自転車事故	171
スポ少活動中	368
他スポーツ中	119
日常生活 他	166
PTA行事中	2
(うち交通事故)	(133)

2 PTA会員の傷害事故

行事内容 34件 (件)

バレーボール	12
野球・ソフトボール	5
運動会・レクリエーション	17

3 賠償事故

児童・生徒	81件 (件)
車の破損	38
建物・ガラス	30
メガネ・その他	13
PTA	1件 (件)
施設器具破損	1

## 加入のお願い

秋田県PTA安全互助会では、児童・生徒・PTAに対する総合補償制度への加入促進に取り組んでおります。

平成22年度の「加入のご案内」について、3月中旬に各単位PTAあてにお送りいたします。安全互助会の趣旨をご理解いただき、特に未加入校におかれましては、役員会等でご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## お知らせ

去る2月13日(土) 県生涯学習センターを会場に本連大会(臨時総会)が開催され、新年度からの会費の改定について承認されました。会費は現行1世帯当たり年80円から130円となります。今後の10年間を見据え、慎重に検討した結果の判断ですので、会員皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 平成21年度の予定

- 5月29日(土) 新田郡市P連会長会議
- 6月5日(土) 県P連・安全互助会定期総会
- 7月10日(土) 秋田県小・中学校PTA会長会議
- 8月27日(金)～28日(土) 全国研究大会ちば大会
- 9月11日(土)～12日(日) 東北PTA研究大会八戸大会
- 10月23日(土)～24日(日) 秋田県PTA研究大会かつの大会

## 編集後記

いよいよ本年度も大詰め、会員の皆様には本連合会の諸事業にご理解、ご協力をいただきました。今年も閉校の寂しさの中に、新しい希望の灯をともし子どもたちの姿がありました。子どもたちは卒業、進学、進級とそれぞれの旅立ちに向かい、自然界では花々、樹々の芽吹く季節を迎えました。新しい何かが始まる予感がしませんか。

子どもたちのためにできることを、親として、PTAとして学校で、地域で、家庭で始めましょう。本連合会ではそんな皆さんを精一杯応援しようと考えています。PTA活動は会員の皆さんの参加でより実りあるものになってまいります。新年度もよろしくお願いたします。

## 大人の休日倶楽部

満50歳以上のおなたに 初年度年会費(2,500円)無料!

### 大人の休日倶楽部ミドル

JR東日本線・JR北海道線のきっぷが5%割引で何回でもご利用いただけます。

※一部割引にならない商品・列車・設備・期間などがございます。  
※「大人の休日倶楽部ミドルカード」(クレジットカード)でのお支払いに限りです。

入会条件 男性満50歳以上64歳、女性満50歳以上59歳までの方

年会費 2,500円(カード年会費500円含む・消費税込み)

大人の休日倶楽部会員バスをお求め・ご利用になるにはこちらへの入会が必要です。  
くわしくは、お近くの駅ひょうぷらぷらの入会申込書をご覧ください。

募集中!

「大人の休日倶楽部」ホームページ  
[www.jreast.co.jp/otona](http://www.jreast.co.jp/otona)

男性満65歳以上、女性満60歳以上のおなたに

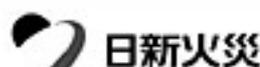
### 大人の休日倶楽部ジパング

JR東日本線・JR北海道線のきっぷが30%割引で何回でもご利用いただけます。

※一部割引にならない商品・列車・設備・期間などがございます。  
※「大人の休日倶楽部ジパングカード」(クレジットカード)でのお支払いに限りです。

入会条件 男性満65歳以上、女性満60歳以上の方  
(ご夫婦の場合、どちらかが60歳以上なら、若二人そろってお申し込みいただけます)

年会費 4,170円(カード年会費500円含む・消費税込み)  
夫婦会員7,120円(カード年会費1,000円含む・消費税込み)



お客さまひとりひとりと、顔の見えるおつきあい。

お客さまに最も身近で誠実な補償を目指して  
秋田県PTA安全互助会補償制度取組会社  
**日新火災海上保険株式会社**  
秋田支店 〒010-0001 秋田市中通4-5-2 TEL018-837-5255

日新火災は、ひとりひとりのお客さまとしっかり向きあう。「顔の見えるおつきあい」で、お客さまのご期待にお応えしたいと考えています。